

朝倉市 ふれあいネットワーク
社協だより

平成21年1月1日 第9号

朝倉市住民福祉・ボランティアのつどい開催!



朗読公演「星の王子さま」



剣舞道「水明館」による舞踊



福祉表彰では21組が受賞



大人気の子ども広場

発行／編集◆社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会

本 所…甘木198番地1 ビーボート甘木内
朝倉支所…宮野2047番地1 老人福祉センター内
杷木支所…杷木寒水99番地2 老人福祉センター内
ホームページ <http://asakurashi-shakyou.jp/>

☎ 0946-22-7834 Fax0946-21-0166
☎ 0946-52-0154 Fax0946-52-0495
☎ 0946-63-3543 Fax0946-62-2945
メールアドレス shakyou@city.asakura.lg.jp

新春のごあいさつ

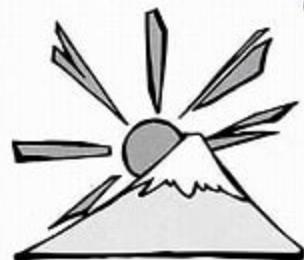


会長
多田悦子

新年明けましておめでとうございませう。皆様には、お健やかに希望に満ち溢れた新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

朝倉市社会福祉協議会は、市民の皆様への支えと励ましの力で、地域福祉活動を実施しておりますが、本年は3社協合併から4年目を迎え、名実共に、朝倉市ならではの地域福祉活動を皆様と共に推進させる年だと思っております。

また、昨年より世界的な不況による危機感と同時に、心が冷え切るような事件が多く発生し、皆様も心を痛められたことと存じます。このような時代だからこそ、朝倉市社会福祉協議会が目指す「安心して暮らしができる心ふれあう福祉のまちづくり」を皆様と共に推進するべきだと思います。



昨年朝倉市が策定しました「朝倉市地域福祉計画」を基本として、朝倉市14地区社協の個性と特色を活かした「朝倉市地域福祉活動計画」策定のための住民アンケート調査や、各地区社協会長・老人クラブ会長様を窓口で開催した「地域福祉活動会議」などで皆様のお力をいただきました。その熱い地域福祉への皆様の思いを無駄にすることなく、策定委員長を中心に朝倉市社会福祉協議会は一団となり、全力で、より良い地域福祉活動計画の基本となる「実施計画書」の策定に努力いたしております。



昨秋の「朝倉市住民福祉・ボランティアのつどい」には先人から福祉の心を受け継ぎ大切に育んでこられた方々への恒例の福祉表彰を感謝をこめて行いました。

また、今年、活動30周年を迎える朗読ボランティア「虹の会」とNHKアナウンサー塩澤大輔様のご指導、友情出演を頂いた「星の王子さま」の見事な朗読公演は、参加者全員の心を打ちました。今年もまた、福祉ボランティアの華が朝倉市社会福祉協議会のふれあいの中に、美しく数多く咲いてくれると信じています。

本年も、朝倉市社会福祉協議会役員一同地域福祉推進の専門職として、限られた人員の中で精一杯能力を発揮して、「福祉のまちづくり」に努めて参ります。皆様の温かいご指導、ご支援をお願い申し上げます。

終わりになりましたが、災害のない心豊かな平和な年でありますことを願ひ、皆様の更なるご多幸を祈念いたしまして年の初めのご挨拶とさせていただきます。

「共同募金会朝倉市支会」が中央共同募金会会長表彰受賞

この度、「共同募金会朝倉市支会」が平成19年度共同募金運動に対し、「優良地区・団体表彰の部」において表彰を受けました。

これからもこの表彰を励みとして、赤い羽根共同募金運動及び地域福祉向上を推進するための事業等を行って参ります。今後ともよろしく申し上げます。



「美奈宜の杜」に地区社協発足

待望久しかった、「美奈宜の杜」に地区社会福祉協議会が設立されました。

今後、市社協と地区社協が連携・協力しながら、地区のニーズに沿った、住民サイドの福祉ネットワークが展開されていくことでしょう。

その大岸会長に、地区社協立ち上げまでの経緯やこれからの展望について、その熱い思いを語っていただきました。



美奈宜の杜地区社協
会長 大岸 満

美奈宜の杜の生い立ち

山林が造成され平成8年に人が住み始めて6年経ち、1000世帯、200人になった平成14年に区会が誕生し住民と行政とのパイプができました。

それから6年、住民は210世帯430人になり、平成20年10月、関係各位の御尽力により地区社協が設立されました。

美奈宜の杜もこれで漸く市民権を得たという思いです。

住民の大半はリタイア後の「終の棲家」を求めて全国から集まって、生まれた文字通りのシニアタウンです。

夫々が余生の過ごし方に目的、夢を持った人達です。

現在、平均年齢は60才。65才以上の高齢者は50%弱になっています。

しかし、年の割には生き生きと元気にスポーツで汗を流し、陶芸、書道、

絵画、囲碁、料理などの趣味を楽しみ、屋外で花や野菜を育てる喜びを味わったり、積極的に楽しく生きようという姿勢が、強く感じられる街になってきました。

今後の問題

5年先の美奈宜の杜は、平均年齢約65才になり、80才以上の高齢者が約50人と見込まれ超高齢地域になっていることは、ほぼ間違いない。車の運転ができなくなる人が増え、病人が増え、独居者も増える。

今は、生き生きと元気な街も、自然の摂理には勝てません。

家庭も街も老々介護の状態になり、「自助」「共助」「公助」にも限界が来るだろう。

そうなれば、「終の棲家」を認めて止む無く他所へ移る人も出るだろう。

問題の解決策は？

デイベロップ（管理会社）、行政の支援、協力には限界があり大きな期待はできない。

大事なことは、住民一人一人が、危機感を持ち、共に認め合い協力し合って、隣人を助け仲間を支えることではないだろうか。

我々住民は縁あって同じ船に乗

り合わせた仲間です。

脱落者が出ないように、今から行動しないと手遅れになる。

地区社協がとここまで、その役割を果たす事が出来るのか不安は尽きないが、住民の声を聞き、この地域に合った活動を進めたい。

これから支援を必要とする高齢者は年毎に増えていくことは明らか。地域の皆様には、「明日は我が身」と自覚して福祉活動に関心を持ち、少しでも手を貸して頂くことを切望してやみません。



「美奈宜の杜」地区社協役員のみなさん

ふれあい・いきいきサロン

一木お元気クラブ(立石・^{ひとつぎ}一木)

10月8日に今年度5回目のサロンを一木公民館にて開催しました。

この日は参加者26名、ボランティア5名でスカットボールとスローピージュニアのレクリエーション競技を行いました。

日頃の練習の腕前を披露され激しい競り合いによる高得点の連続でみなさん大いに盛り上がりました。

競技終了後は、サロンの気のおけない仲間どうして、家族の話やなつかしい昔話等で笑顔の絶えない楽しいいつもの時間となりました。

サロン代表者の早野謙治さんも「参加者の方がいつも楽しみにしてあり本当にうれしいです。」と話していました。



いきいき健康クラブレクリエーション大会



介護保険非該当の65歳以上の方が利用できるいきいき健康クラブは、朝倉市の受託事業として甘木・朝倉・杷木の3箇所で開催しています。

その中の甘木地域では10月22日と23日の2日間にそれぞれ4チームに分かれ、日頃鍛えた技の披露等を甘木中学校武道館にて行いました。

それぞれのチームが息のあったプレーを見せ、最後の競技まで優勝がもつれるという大変熱気あふれるものとなりました。

競技が終わるまではお互いにライバルどうしても終わったらお互いに健闘をたたえ合い、とってもいい雰囲気の中、最後に全員で円になっての盆踊りと記念撮影で無事終わりました。

「ふみの会」厚生労働大臣表彰受賞

朝倉市ボランティア連絡協議会に所属し、昭和57年から25年以上にわたり視覚障がい者の情報提供として、新聞コラムをはじめその他書籍等の点訳ボランティア活動等を行っている「ふみの会」が平成20年度厚生労働大臣表彰を受賞しました。

同会代表の小池春美さんは、「点訳の方法を覚えることは、いろいろ大変でしたが、ボランティアをしている私たちの方が視覚障がい者の方からさまざまなことを学ばせていただきました。これからも視覚障がい者の方たちと共に無理をせず点訳活動を続けていきたい。」と受賞に対する喜びをお話しになりました。



「介護ボランティア青い鳥」厚生労働大臣表彰受賞

朝倉市ボランティア連絡協議会に所属し、20年にわたり精神障がい者の社会復帰事業や相談・指導、精神障がい者小規模作業所への支援、認知症高齢者との話し相手等に貢献され、その業績が顕著な「介護ボランティア青い鳥」が平成20年度厚生労働大臣表彰を受賞しました。

同会会長の林雪子さんは、「受賞できたのは、会員の皆様の努力と支えがあったからです。私たちは自己表現の苦手な精神障がい者のことを多くの人に理解してもらえるようにお手伝いしたいと思っています。又精神障がい者の社会復帰のために力になれるよう頑張りたいと思っています。ボランティアをすることで多くの喜びを得ています。ありがとうございました。」と受賞に対する喜びをお話しになりました。



たんぽぽ 「TANPOPO」生活訓練

知的障がい児親の会「たんぽぽ」では、子どもたちがさまざまな訓練を行う体験講座を行っています。

8月3日には東峰村の大自然に囲まれた「ポーン太の森」の川や林の中を探検し、普段の生活の中では発見できないことを見つけて、わくわくどきどきの体験ができました。

そして9月21日には活動の拠点である寿楽荘で秋祭りを行いました。この日は朝倉東高校のボランティアのサポートも受けて、おいしくて甘いクレープ作りやダンボール箱で作ったお菓子袋の紙芝居をするなど大盛況でした。

随時ボランティアを募集していますので関心のある方は社会福祉協議会までご連絡下さい。



ヤングボランティア講座



社協では夏休みに中学生以上を対象とした福祉やボランティアについて楽しく学習する講座を設けていますが、今年は、障がいのある方の「就労」について体験学習を通して考える講座を8月28日に開催しました。

「就労」は地域社会での生活を考える上で言うまでもなく大事なことです。

今回は障がいのある方が働いている4箇所の企業、共同作業所、鍼灸院、授産施設で講義や体験を行い、職場の仕事内容や雇用対策等について学習しました。その中で参加者も地域社会として障がいのある方をいかにして支えるか等の議論を行いました。

平成20年度福祉表彰受賞者紹介 (順不同)

■ 民生児童委員特別功労者の部

民生児童委員で、多年にわたり社会福祉の増進に努め、その功績が顕著であり、他の模範となる方。

二宮日出子様 (持丸) 金子豊弘様 (三奈木)

■ 社会福祉事業功労者の部

社会福祉協議会の役員で、多年にわたり社会福祉の増進に努め、その功績が顕著であり、他の模範となる方。

杷野敏孝様 (三奈木) 矢野チヅ子様 (三奈木)
大隈澄之様 (屋形原) 篠原一憶様 (荷原)
富永隆敏様 (下浦) 柳和子様 (千代丸)
小嶋平八郎様 (中原) 辻なつ子様 (下浦)
立石宗助様 (馬田)

■ 高額寄附者の部

○ 香典返し

富田哲生様 (故 三郎様)	甘木
田口和博様 (故 喜八郎様)	日向石
武井雄介様 (故 一剛様)	馬田
上野洋様 (故 シゲノ様)	菩提寺

○ 一般寄附

宮原謙一郎様	三奈木
稲葉茂実様	堤
株式会社ブリヂストン甘木工場様	小田
九州電力株式会社甘木営業所様	甘木
日蓮宗釈迦院 寒修行御一行	
代表 早野前篤様	一木
キリン関連労働組合協議会福岡地域連合会様	馬田



平成20年度

朝倉市住民福祉・ボランティアのつどい

～地域版きずなフェスティバル～



子どもたちも熱中「子ども広場」

11月24日(月:振替休日)、朝倉市社会福祉協議会、朝倉市ボランティア連絡協議会(福祉部会)、財団法人福岡県地域福祉振興財団の共催で「朝倉市住民福祉・ボランティアのつどい」が開催されました。

朝倉市総合市民センター(ピーポート甘木)の中ホールを中心として式典、福祉表彰、朗読公演、福祉バザー、子ども広場等が行われました。

約200名の市民及びボランティアの皆様のご参加により地域福祉の更なる普及啓発向上等を目指して実施しました。

朗読公演「星の王子さま」



朗読公演終了後の記念撮影

朗読「虹の会」とNHKアナウンサー塩澤大輔氏によるサン・テグジュペリ作、内藤濯ないとうあろつ訳の「星の王子さま」の朗読公演を行いました。「肝心なことは目では見えないよ。心で見なくてはね。」というキツネのセリフが心に残りました。又、朗読と音楽のコラボレーションが一層感動的でした。

○ お知らせ・・・「地域福祉活動計画を策定しています。」

朝倉市が策定した「地域福祉活動計画」に基づき、具体的な実施計画である「朝倉市地域福祉活動計画」の策定に向けて取り組んでいます。市内14箇所の地区社会福祉協議会や老人クラブ支部ごとに地域福祉活動会議を開催したところ、多くの皆様にご参加いただき地域で行っていることや今後の取り組みが必要なおことをお聞かせいただきました。

また住民アンケート調査を全世帯にお願いするとともに、福祉関係者の皆様にもアンケート調査票を郵送し多くのご意見をいただきました。市民の皆様には、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

多くの市民の皆様からいただいた貴重なご意見は、「朝倉市地域福祉活動計画書」の策定に反映させていただきます。



この広報誌は共同募金の配分金によって発行されたものです。